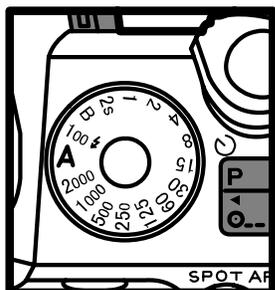
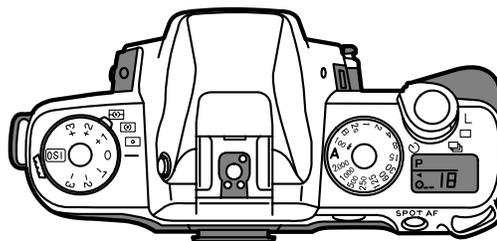
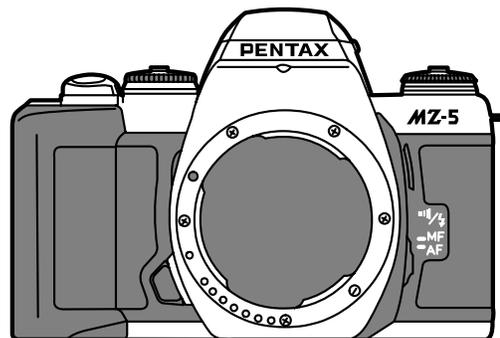


PENTAX MZ-5

スペック

シャッター	1/2000～2秒・B（電子シャッター）
X接点	1/100秒
測光方式	6分割測光 / スポット測光 / 中央部重点測光
撮影モード	絞り優先 / シャッタースピード優先 / プログラム / マニュアル
サイズ	135.0×90.0×61.5mm
重量	415g
発売年	1995年
新品価格	73,000
中古相場	20,000～30,000前後
備考	AE撮影時は、30秒まで露光可能。 ファインダー視野率92% ファインダー倍率0.8倍



A F初期のペンタックスのカメラはどうしようもないものばかりだった。一体何を狙っているのか、誰にも分からなかった。当のペンタックス自身でさえも。何の意味もなく奇をてらった人間工学「風」のデザインに目が眩み、他社の多機能攻撃には同じく多機能で応戦した。

しかし、悪夢は終わった。ペンタックスは正気を取り戻し、「ペンタックスらしさとは何か」を考え始めた。MZ-5は、ペンタックスが出した1つの答だった。A F機でありながらダイヤルでシャッタースピードを選ぶことができるというのは、逆に新鮮でもあった。当時のカメラ業界には、「A F機には液晶だ」という観念があり、業界全体がそれに縛られていたのは事実だ。その観念から目を覚ますことができたのは、ペンタックスの底力かも知れない。

発売が1995年と、A F機にしては多少古いのだが、機能的には問題ないだろう。リバーサルフィルムを使わないのであれば、MZ-3にあるような段階露出機能（オートブラケット機能）などは必要ない。だからといって謙遜するようなカメラではない。必要な露出モードは全て入り、しかも、小型軽量のボディは、MXを思い起こさせる。肝心のシャッターダイヤルの感触も、最高とまでは言わないが悪いものではない。